

基本理念 これからの高知を生きる人たちに力と喜びをもたらす図書館

基本構想 新図書館・新点字図書館・科学館(仮称)基本構想(H23.4)
基本計画 新図書館等複合施設整備基本計画(H23.7)

基本方針

1 情報提供機関として地域を支える図書館

2 県民・市民の資料要求に応え、課題解決の支援ができる図書館

3 セーフティネットの役割を果たす図書館

4 図書館利用に障害のある利用者に配慮した図書館

5 進化型図書館

◆ 両図書館の独自機能の向上

基本方針及びサービス・取組の継承とさらなる充実

社会環境の変化

- ・人口減少、人口構造の変化
- ・経済の縮小
- ・生成AI(人工知能)の高度化と普及
- ・SDGsへの意識の高まり
- ・外国人材の受入れ拡大
- ・災害の激甚化・頻発化 等

地域の課題

人口減少 最重要課題

- ・出生数の減少
- ・若年人口の流出
- ・高齢化
- ・産業の担い手不足
- ・地域経済の縮小
- ・空家の増加
- ・地方交通の衰退

要支援者の増大

(社会的孤立、生活困窮)
南海トラフ地震対策 等

これまでの課題

- ・図書館サービスの認知度不足
- ・利用者や関係機関のニーズ把握
- ・デジタル化等技術の進展への対応
- ・非来館者、来館が困難な方の利用拡大 等

3期計画策定キックオフミーティング (R7.5.16実施)

サービス計画の現在地や今後の方向性を職員全員で再確認し、担当業務の枠を越えて3期に向けた自由なアイデア出しを行った。アイデアについては、館内で引き続き3期計画策定に向けて、取組の意義や実現可能性について検討していく。

Ⅱ アイデア出しでの自由なアイデア例

※実現可能性度外視

- ・資料を借りられる場所を増やす
- ・予約本の受取場所を増やす(市町村図書館、スーパー等)
- ・郵送サービスの送料月額定額借り放題化 等

- ・電子書籍用タブレットの個人貸出、市町村への貸出
- ・全市町村での電子書籍の使い方講座の開催
- ・電子書籍サービスの広域運用(県全域、四国など)
- ・病院に電子図書館の入院患者用IDを配布 等

- ・司書の貸出しサービス(プロジェクト参加、学校への派遣)

- ・専門機関の出張相談窓口の館内への設置
- ・オンライン会議もできる仕事や学びの場の提供
- ・課題を抱える人のためのつながりの場づくり
- ・サークルやコミュニティづくりのコーディネート 等

- ・アバターを使ったオンラインレファレンス窓口の設置
- ・チャットボットやチャット形式での問い合わせ対応
- ・オンライン図書館見学(orメタバース図書館) 等

- ・学生を対象にした情報の集め方、評価のしかた講座
- ・子ども向け初めてのスマホ講座
- ・生成AIの使い方講座
- ・日本語を母語としない保護者のための育児相談会

グループ
ピング

Ⅱ 3期に向けたポイント

▶ 県内どこに住んでいても利用できるサービス

○非来館での紙媒体資料の貸出し

- ・必要な場所まで届ける
- ・受け取れる場所を増やす

○電子書籍サービスの充実

- ・必要な資料・情報を図書館からオンラインで提供する
- ・情報にアクセスするまでの時間を短縮する

○人的サービス、アウトリーチの拡大

- ・司書の専門性を県内全域で生かす

▶ 来館する価値のあるオーテピア高知図書館

○課題解決に役立つ相談会などの事業の実施

- ・課題を抱える人と地域資源を図書館がつなぐ

○地域のコミュニティづくり

- ・社会的孤立を減らす館内事業やサービスの実施
- ・居場所として選ばれる館内環境づくり(学びや交流の場等)

▶ 「今の時代当たり前」のことができる図書館

○ICT技術を使った利便性の向上

- ・オンラインを併用／代替できるサービスを検討する
- ・新しいオンラインサービスを創出する

▶ 情報リテラシーの向上を支援

- ・情報リテラシー向上のための各種講座の実施
- ・必要な情報を収集しやすい館内の工夫(ブックリスト、排架等)



Ⅱ 今後のプロセス

各サービス担当による検討

- キックオフミーティングで出たアイデアも、これからの取組の「種」として考え、3期計画の各サービスの方向性を検討
- 各サービスの事業の優先度の見直し(スクラップ&ビルド)

3期の策定方針検討

- 国県市の施策との整合性を図りながら、基本方針、各サービスの方向性、外部評価をもとに3期の策定方針を検討

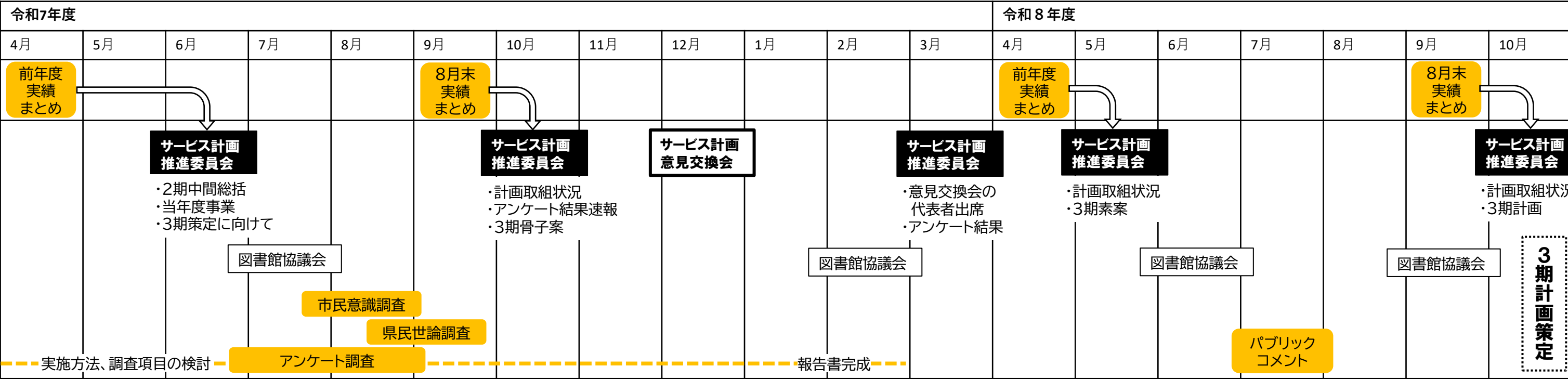
外部評価

サービス計画推進委員会、図書館協議会、アンケート調査、サービス計画意見交換会 等

施策にかかわる動き

| 施策にかかわる動き | | | 図書館に係る施策 |
|-----------|---|---|--|
| 国 | ・Society5.0の実現 ・育成就労制度の創設 ・「総合知」の戦略的推進 | ・地方における仕事づくりと人材の育成・確保 ・孤独・孤立対策の推進 等 | ・著作権法の一部を改正する法律(R5.5改正) ・第4期教育振興基本計画(R5.6策定) ・第五次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」(R5.3策定) ・第二期読書バリアフリー基本計画(R7.3策定) 等 |
| 高知県 | ・“4S”プロジェクトの推進 ・「デジタル化」「グリーン化」「グローバル化」の視点による県政の進化 ・経済の活性化～第5期産業振興計画の推進～ ・日本一の健康長寿県づくり | ・文化芸術とスポーツの振興 ・南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化 ・インフラの充実と有効活用 ※出典「高知県の重点政策」、高知県元気な未来創造戦略(令和7年度版) | ・第4期高知県教育振興基本計画(R6～R9年度) ・高知県図書館振興計画(H30～R9年度) ・高知県読書バリアフリー計画(R6～R10年度) ・第四次高知子ども読書活動推進計画(R4～R8年度) |
| 高知市 | ・自然と人とまちのそれぞれが調和し、共生する地域社会を創造 ・住み慣れた地域で健康で安心して暮らすことができる地域社会の構築 ・子育てへの支援や教育を充実し、文化を振興 ※出典「2011高知市総合計画後期基本計画 第2次実施計画2024～2026年度」 | ・地域の豊かな資源を最大限に活用し、活力ある産業活動の実現 ・自然と人とまちが調和する社会で快適な都市空間の創出 ・多様な交流、移住・定住の促進 | ・第2期高知市教育振興基本計画(R3～R10年度) ・第四次高知市子ども読書活動推進計画(R7～R11年度) ・第2期オーテピア高知声と点字の図書館サービス計画(R4～R8年度) |

第3期オーテピア高知図書館サービス計画策定までのスケジュール



アンケート調査概要

| | 1 利用者満足度調査 | 2 関係機関・団体アンケート | 3 バリアフリーサービスアンケート | 4 行政職員アンケート | 5 市町村支援アンケート | 6 外国人アンケート NEW | R7年度 県民世論調査 NEW |
|--|--|---|--|---|---|---|---|
| 用途 | ○サービスごとの満足度に 応じて、改善方策を検討する。 ○課題解決型サービスの定 着の度合いや、図書館利用 が課題解決に役立った事例 等を把握する。 ○図書館の魅力や強みを把 握し、サービスの磨き上げや 重点的な広報につなげる。 | ○課題解決支援サービス等 の図書館サービスの普及・啓 発を図る。 ○図書館未利用の機関・団体 や学校への効果的な働きか けについて検討する。 ○課題解決支援サービス等 のアウトカム評価を行う。 | ○調査をとおして、バリアフ リーサービスの普及・啓発を 図る。 ○図書館未利用の障害者等 への有効な働きかけを検討 する。 | ○課題解決型支援・行政支援 サービス等の図書館サービスの 普及・啓発を図る。 ○図書館未利用の行政職員へ の効果的な働きかけについて 検討する。 ○仕事に役立つ図書館となる よう、サービスの磨き上げや新 たなサービス展開の参考とする。 | ○支援に関する取組の認知度・ 満足度を把握し、改善点を検 討する。 ○各市町村の状況に合わせた 支援のあり方について検討す る。 ○各市町村が目指す図書館 サービスの方向性を確認し、働 きかけの参考とする。 | ○調査をとおして、多文化 サービスの普及・啓発を図る。 ○図書館未利用の在留外国人 等への効果的な働きかけにつ いて検討する。 ○ニーズを把握し、利用の拡 大とサービスの質の向上を図 る。 | 当館から県内全域への直接サー ビス、県内市町村立図書館等へ の支援の充実のため、県内公共 図書館・図書室の利用状況につ いての調査項目を3問設ける。 対象：18歳以上の県民 対象人数：3,000人 調査時期：7～8月 |
| 前回からの推移の分析によりニーズの変化や新たな課題を把握し、利用の拡大とサービスの質の向上を図る | | | | | | | R7年度 高知市民意識調査 |
| 対象 | 図書館の来館者 | 課題解決関連分野の関係機 関・団体(ビジネス、農業、産 業支援、医療・健康、防災、中 心市街地活性化、周辺施設 連携)、学校 | 障害のある当事者 | 高知県・高知市の職員 | 市町村立図書館 図書館未設置町村の図書室・教 育委員会 | 日本語を母語としない方 (国際交流員、外国語指導助手、 日本語教室・日本語サロン参 加者、留学生、技能実習生等) | 未利用者への効果的な働きかけ を検討するため、オーテピア高 知図書館、高知市民図書館分 館・分室等の利用頻度や、利用し ない理由を問う。 |
| 目標 の 数 | 調査票配布数 1,500 回収見込 1,350 ※前回回収率91.9% | 依頼団体数 250 回収見込 200 ※前回回収率88.5% | 調査票配布数 1,000 回収見込 600 ※前回回収率61% | 対象職員数 [県]約5,500 [市]約2,700 回収見込 [県]約1,650 [市]約800 ※前回回収率20.9% | 依頼館室数(本館・分館) [館]32 [室]12 回収見込 44 ※前回回収率100% | 対象者数 約3,000 回収見込 約300 | 対象：18歳以上の市民 対象人数：3,000人 調査時期：7～8月 |
| 手法 | 来館者へのアンケート | 郵送 | 障害者関係団体(約100団 体)へ協力依頼 | 県市行政システム(アンケート機 能) | メール・FAX | 関係団体(約110団体)へ協力 依頼 | 検討中 ○図書館等複合施設「オーテ ピア」による中心市街地活性化 への寄与の効果測定に係る調 査・研究 |
| 時期 | 令和7年8月(火曜・金曜・日 曜の3日程度) | 令和7年7～8月 | 令和7年7～8月 | 令和7年7～8月 | 令和7年7～8月 | 令和7年6～8月 | |

- サービス計画推進委員会
- サービス計画に記載の「図書館の専門家等による第三者機関」。図書館協議会以外に定期的にサービス・取組の実施状況の点検・評価を行う機関。図書館が作成したサービス計画の進捗管理(点検評価)資料について説明し、専門家による意見、アドバイスをいただく。※「評価」とは、評価点をつけることなく、取組に対する成果や課題を洗い出すこと。
- サービス計画意見交換会
- 第2期計画に基づく取組の成果と課題を踏まえ、課題解決関係機関・団体等から第3期計画策定の方角性等についての参考意見を伺う意見交換会。前回の意見交換会は、「商工・農林水産業」、「健康・福祉」、「防災」、「中心市街地活性化への寄与・周辺施設との連携」の4つの分野について意見交換会を開催した。
- 図書館協議会
- 図書館法に基づき館長の諮問に応じ意見を述べる機関として設置される協議会。第2期サービス計画4ページに記載のとおり、定期的にサービス・取組の実施状況の点検・評価を行う。